

TIAニュース

やあ!



TIAトピックス
とちぎ外国人サポートセンター/
コロナウイルスホットラインの相談状況
JICA 情報局
国際理解教育を学びたい方へ



TIAは「やさしい日本語」の普及をすすめています。



▲楽しくわかりやすい講義を行う講師の柳田氏



▲やさしい日本語で伝えるワークに取り組む参加者とアドバイスをする講師の柳田氏(右)



▲外国人とグループワークを行う参加者

やさしい日本語普及員養成セミナー

外国人に伝わりやすく配慮した「やさしい日本語」について学び、周囲に伝える活動について話し合うセミナーを6月4日(土)にとちぎ国際交流センターで開催しました。講師に一橋大学国際教育交流センター准教授の柳田直美氏を迎え、日本や栃木県の外国人の背景、「やさしい日本語」で話すときや聞くときのポイントなどを学びました。

今回は、県内在住の外国人ゲストを迎え、各グループで外国人ゲストに対し、コロナ関連のチラシ、イベント、ポイントカードなどの案内を「やさしい日本語」で伝えるワークを行い、案内文に何が書かれているかわかりやすく説明したり、外国人からの質問に答える練習などに取り組みました。

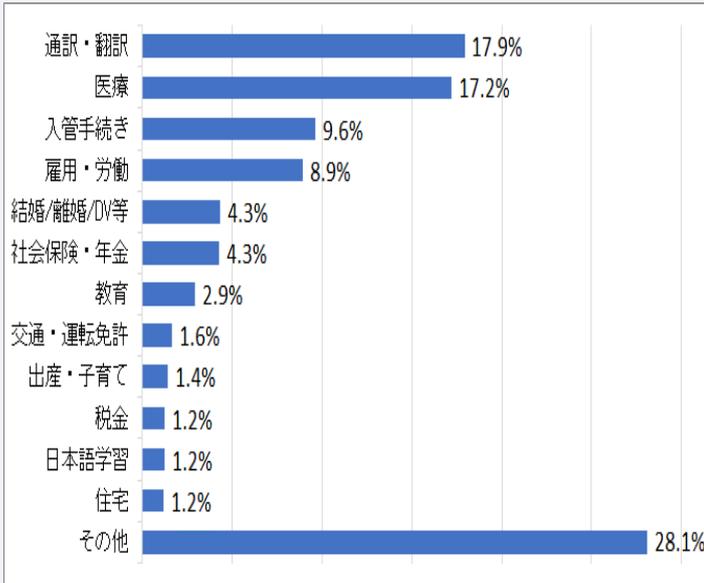
最後に、「やさしい日本語」の良さや周囲に伝えるための工夫について話し合いました。外国人に接する機会のある人にもない人にも、周囲の状況に合わせて「やさしい日本語」を伝え続けることが大切等の提案がありました。

参加者からは、「ジェスチャーや短い言葉で話して伝わった」、「グループに外国人がいたので、何がわからないかがわかった」、「ボランティア活動ですぐに実践したい」などの感想をいただきました。



【とちぎ外国人相談サポートセンター】

TIA が運営している「とちぎ外国人相談サポートセンター」は、外国人や外国人に関わる相談を多言語で行う窓口です。火曜日～土曜日の9時～16時まで、電話や対面等で行っています。対応言語で最も多いのは日本語、次いでスペイン語、ポルトガル語、英語、ベトナム語と続きます。相談内容は、言語のことから生活に関することまで多岐に渡ります。

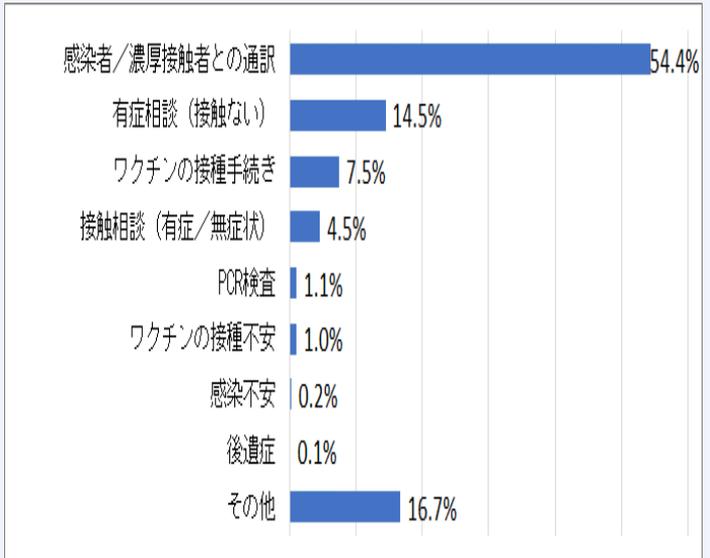


※相談件数(令和3年度):2,253件

【外国人向け新型コロナウイルス相談ホットライン】

新型コロナウイルスに関連した外国人専用相談を毎日24時間、21言語で対応しています。相談は電話対応のみ。

医療関係者との通訳や新型コロナウイルスに関するさまざまな不安について対応しています。



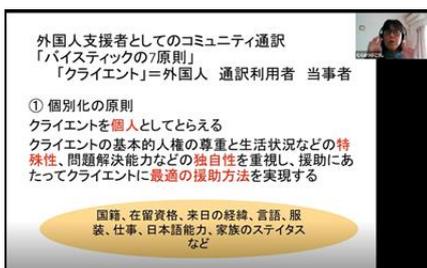
※相談件数(令和3年度):2,678件

とちぎ外国人相談サポートセンター ☎ 028-627-3399
新型コロナウイルス相談ホットライン ☎ 028-627-8282

コミュニティ通訳研修会

3月5日(土) オンライン

地域における通訳支援を行う「コミュニティ通訳」について学ぶ研修会をオンラインで行い、英語、スペイン語、ベトナム語等8言語27名が参加しました。



▲熱心に講義を行う講師の村松氏

講師に、社会福祉士で、医療通訳研究会(MEDINT)代表の村松紀子氏を迎え、「こんなときどうする～事例で学ぶコミュニティ通訳」と題し、コミュニティ通訳の現状や対人援助の基本であるバيسテックの基本原則、通訳者の守秘義務、メンタルケアなどについての講義のほか、グループに分かれて、コミュニティ通訳者としてのプライバシーやストレスの管理について話し合いました。

参加者からは講師の貴重な経験が聞け、ワークにも参加でき、楽しく研修できたとの感想がありました。

防災訓練「多言語翻訳シミュレーション」

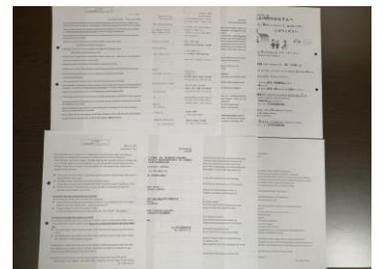
3月16日(水)～18日(金)

災害時における外国人への情報提供を行うため、県内15の国際交流協会と協働し、メーリングリストを活用した連絡訓練および翻訳訓練を行いました。また、想定被災地として上三川町にご協力いただきました。

訓練では、台風に伴う豪雨の影響で、上三川町内の河川が洪水し、浸水等の被害があったという想定のもと、上三川町の支援のため、TIAが各協会へ翻訳協力を要請し、訓練用として上三川町が作成した災害情報の原稿を送りました。

翻訳協力者として58名が参加し、英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、タガログ語、韓国語、ドイツ語、インドネシア語の9言語および「やさしい日本語」に翻訳しました。

訓練終了後、参加者に互いの翻訳文を共有し、今後の翻訳の参考にしていただきました。



▲訓練で翻訳された上三川町の災害情報



新規留学生のためのガイダンス

5月28日（土） オンライン

この春、栃木県内の大学院、大学、短大、高等専門学校に入学したばかりの留学生を対象としたガイダンスをオンラインで実施し23名が参加しました。

栃木県地域留学生交流推進協議会の事業内容や栃木県の概要等の説明を動画等で紹介した後、宇都宮大学のドン グエンさん（ベトナム）、作新学院大学のスウ ゲンキさん（中国）、白鷗大学のリ イキンさん（中国）の3名の先輩留学生に、日本語が上達する方法や日本での留学生生活を有意義に送るためのアドバイス、日本人学生との交流などについて経験談を話していただきました。

最後に、^{はなやぎのあき}花柳喜乃亜紀さんらによる日本舞踊花柳流の踊りと^{こやまみつきよ}小山貢清世さんらによる津軽三味線の演奏をそれぞれライブで行っていただき、留学生は日本の伝統文化に親しみました。



▲留学生活について話すベトナム出身のドン グエン コイさん(右上)

県民外国語講座「おもてなし英語ボランティア」

12月9日（水）～3月9日（水） 全10回（2月休講）
とちぎ国際交流センター



▲丁寧に解説する講師の平野氏

本講座は外国人観光客に英語で「おもてなし」できるようになることを目的に平成28年から実施しています。講師は引き続き平野聖乃氏が務め、22名の参加者が日本の文化やしきたり、美術、工芸などを英語で紹介するため学習に励みました。

新型コロナウイルスの影響により、長期にわたり外国人

の入国制限がされていましたが、令和4年6月から観光客の入国が徐々に緩和され始め、県内の来訪も増加するため、「おもてなし」を実践する機会が増えていくでしょう。



▲熱心に学ぶ参加者のみなさん

JICA 海外協力隊帰国報告会 in とちぎ

3月12日（土）とちぎ国際交流センター&ライブ配信

JICA 筑波と共催で、「JICA 海外協力隊帰国報告会 in とちぎ～行ってみた！やってみて！青年海外協力隊」を実施しました。

第1部は、ガーナにPCインストラクターとして派遣された田島繁樹氏、及びホンジュラスに数学教育のために派遣された清水美生氏が、現地で奮闘した活動内容や生活の様子などを紹介しました。



▲ガーナに派遣された田島氏が活動を報告

第2部は、JICA 栃木デスクの熊倉百合子氏をコーディネーターに、上記2名に栃木県青年海外協力隊OB会会長の大貫泉氏が



▲パネルトーク(左から熊倉氏、田島氏、清水氏、大貫氏)

加わりパネルトークを行い、青年海外協力隊に参加することの魅力などを話しました。

来場者7名、ライブ配信による視聴回数は40回でした。

※この報告会の動画はTIAホームページ
(<https://tia21.or.jp/movie.html>)

からご覧ください。



やさしい日本語出前講座

下記主催の研修会で、TIA 職員の田島亮子が講師を務め、「やさしい日本語」について紹介しました。



・宇都宮市国際交流協会
「日本語学習支援ボランティア養成講座」
(プログラム2日目)
『やさしい日本語で話してみよう!』

5月15日（土）



▲やさしい日本語を話すワーク

TIA 相談員のご紹介



とちぎ外国人相談サポートセンターの常勤スタッフを紹介します。ペルー出身の坂本ベアトリス（スペイン語担当、写真左）とブラジル出身の当山アドリアナ（ポルトガル語担当、写真右）です。日本語でも相談対応しています。



日本語を勉強していました。日本語を学ぶことが当たり前という恵まれた環境でした。また、日本人と親しくするには、少しずつ距離を縮めていくといいなと感じています。

一相談の仕事はどうですか？

坂本 私は今年で4年目ですが、いろいろな相談者がいます。労働や医療など、言葉が十分でないため苦労している人も多いです。私はいつも、相談者が納得できるように、正確な情報を伝えるということを心がけています。

当山 私は今年の4月に入ったばかりです。相談を受けていて気づいたのが、問題の解決ばかりではなく、ただ話を聞いてほしいという相談者がいるということです。また相談者にとって本当に必要なことは何なのかを、しっかり聞くことが大切だと考えています。

一いつ日本に来ましたか？

坂本 私は1991年に来日しました。当時、日本語がほとんどわからなかったので買い物ときや病院で苦労しました。1年で帰国するつもりでしたが、現在の夫と出会ってから自分で一生懸命に日本語を勉強しました。日本語とスペイン語は文法が違うので、書くのも話すのも文章にするのが難しいです。また、ペルーでは人懐っこい人が多いので、外国人を見たら、みんな話しかけてくれるんです。でも、日本ではあまりそういうことはないの、日本語が話せるようになってから交流できるようになりました。

当山 私も1991年に来日しました。日系人ですが日本語は全くわかりませんでした。でも、最初に入った会社では、ほとんどが若い日系人で向学心が旺盛だったので、みんな

▲坂本相談員（左）と当山相談員（右）

<TIA 人事異動のお知らせ>

4月から理事長に篠崎直樹、事務局次長に加藤和久が着任しました。

JICA 情報局

国際理解教育を学びたい方へ ～身近な取り組みをご紹介します～

JICA 筑波主催の連続セミナーでは、「SDGs（持続可能な開発目標）」を取り上げ、ワークショップを体験しながら、多文化共生、貧困問題などSDGsに関連するグローバルな課題をテーマにした授業作りや教材作りについて学びます。学校の授業はもちろん、様々な学びの場に活かせる内容です。

<https://www.jica.go.jp/tsukuba/event/2022/nq2115000000iv1.html>

また、「栃木県教員等ネットワーク勉強会」は、栃木県内の元青年海外協力隊員や、JICA 教師海外研修・国内研修に参加された先生方が中心となり、自主的な勉強会を開催しています。様々な立場で国際理解教育を実践しているメンバーが集まって、楽しく活動しています。



▲栃木県教員等ネットワーク勉強会のみなさん

いずれも「国際理解教育に関心のある方」のどなたでも参加できます。ぜひご連絡ください。

JICA 栃木デスクからのお知らせ

JICA 海外協力隊など情報はこちらから

◆筑波と世界をつなぐ様々な情報を発信中！

<https://www.jica.go.jp/tsukuba/>

<https://www.facebook.com/jicatsukuba>

ウクライナ人道危機救援のための募金箱を設置



今年3月10日から、とちぎ国際交流センター1階受付に募金箱を設置しています。寄付金は日本赤十字社を通じてウクライナでの人道支援等に充てられます。

9月27日（火）まで設置予定です。

▲TIA に設置の募金箱



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA)
住所 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)
業務時間 8:30~17:15 休館日 日曜・月曜・祝祭日・年末年始
URL <https://tia21.or.jp> Email tia@tia21.or.jp